

2025 年

R7. 11. 17 (月) 実施

病態・疾病論Ⅳ 生体防御機構・免疫機能障害 (岩尾先生)

試験問題: 各 3 点、合計 30 点

1. 皮膚・粘膜と防御機構の組合せで正しいのはどれか。

1. 皮膚表面 — アルカリ性の皮脂
- ② 気道 — 線毛上皮細胞
3. 腸管内 — デーデルライン桿菌
4. 尿路 — リゾチーム

2. 免疫担当細胞とその機能の組合せで正しいのはどれか。

1. 好中球 — 抗原の提示
2. 肥満細胞 — 補体の活性化
- ③ 形質細胞 — 抗体の産生
4. ヘルパーT細胞 — 貪食

3. 貪食能を有する細胞はどれか。

1. 好酸球
2. Bリンパ球
3. 線維芽細胞
4. 血管内皮細胞
- ⑤ マクロファージ

4. ラテックス製手袋を着用した直後に口唇・手足のしびれと喉頭の違和感を自覚した。原因となる病態はどれか。

- ① I型アレルギー
2. II型アレルギー
3. III型アレルギー
4. IV型アレルギー

5. ツベルクリン反応の機序はどれか。

1. I型アレルギー
2. II型アレルギー
3. III型アレルギー
- ④ IV型アレルギー

6. IV型(遅延型)アレルギー反応について正しいのはどれか。2つ選べ。

1. IgE 抗体が関与する。
2. 肥満細胞が関与する。
- ③ Tリンパ球が関与する。
4. ヒスタミンが放出される。
- ⑤ ツベルクリン反応でみられる。

7. 減感作療法を受ける患者への説明で適切なのはどれか。

1. 「治療期間は1か月です」
2. 「静脈内注射でアレルゲンを投与します」
3. 「治療後はアレルゲンを気にせず生活できます」
- ④ 「投与後30分はアナフィラキシー症状を観察します」

8. アナフィラキシーショックで正しいのはどれか。

1. 徐脈になる。
- ② 重症例では死に至る。
3. III型アレルギー反応である。
4. 副腎皮質ステロイドは禁忌である。

9. アトピー性皮膚炎で正しいのはどれか。

- ① IgE 抗体が関与する。
2. 抗核抗体が陽性になる。
3. 四肢の伸側に好発する。
4. 患部の発汗が増加する。

10. Aさん(64歳、男性)は、肺炎のため抗菌薬の投与目的で入院となった。治療開始後3日に全身の皮膚、眼瞼結膜および口腔粘膜に紅斑と水疱が出現した。バイタルサインは、体温 38.5℃、呼吸数 24/分、脈拍 80/分、血圧 124/80mmHg、経皮的動脈血酸素飽和度(SpO₂)96%(room air)であった。

Aさんに出現している症状から考えられる病態はどれか。

1. 後天性表皮水疱症
2. Sjögren<シェーグレン>症候群
- ③ 全身性エリテマトーデス
4. Stevens-Johnson<スティーブンス・ジョンソン>症候群